平成３０年８月２１日
相模原市発表資料

第６回東京都市圏パーソントリップ調査について

本市では、人の一日の動きを調べる**10年に一度の大規模な調査である**、東京都市圏パーソントリップ調査を、**９月から１２月にかけて実施**しますので、お知らせします。

この調査は、将来のまちづくりや交通計画などを検討するための基礎資料を得ることを目的として、国土交通省及び１都４県５政令指定都市が協力して実施するものです。

調査対象となった市民の皆様には、本調査の趣旨をご理解いただき、ご協力いただくようお願いしていきます。

※　調査内容、期間、対象、方法などの詳細については、別添の参考資料をご参照ください。

同時発表
国土交通省関東地方整備局
茨城県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、横浜市、川崎市、千葉市、
さいたま市、相模原市

問合せ先
担当課　　交通政策課
直通電話　042-769-8249

参考資料

国土交通省 関東地方整備局
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism, Kanto Regional Development Bureau

平成３０年８月２１日（火）
国土交通省関東地方整備局企画部
（東京都市圏交通計画協議会 事務局）

記　者　発　表　資　料

第６回東京都市圏パーソントリップ調査にご協力下さい

・東京都市圏パーソントリップ調査は、**人の一日の動きを調べる 10 年に一度の大規模な調査**です。今回の第６回調査で**第１回から 50 年目**となります。
・この調査は、「どのような人が」、「どのような時間帯に」、「どのような目的で」、「どのような交通手段で」、「どこからどこへ」移動したかなど、**人の平日１日の動きを調べる**ことにより、**将来のまちづくりや交通計画などを検討するための基礎資料を得ることを目的**としています。

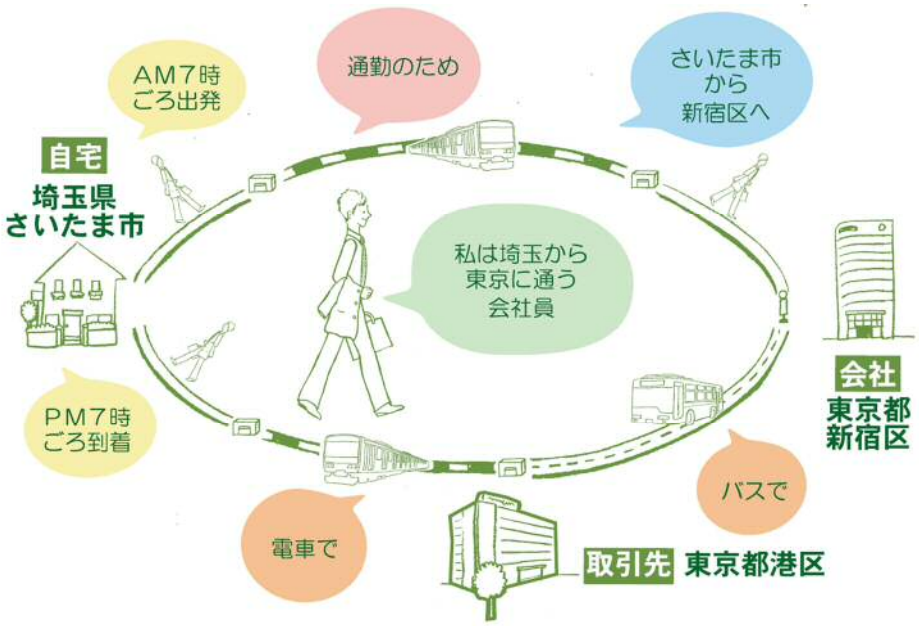
調査期間　：　平成 30 年９月から 12 月
対象地域　：　東京都（島しょ部を除く）、神奈川県、埼玉県、千葉県の全域及び茨城県南部地域
調査対象　：　**対象地域に居住する５歳以上**の**居住者から無作為抽出した約 100 万人（居住者の約 3%）**を対象としています。
調査方法　：　**インターネット回答先行型調査により実施**します。
対象者には ID とパスワードを記載したはがきを送付し、インターネットによる回答期間を設けます。回答期間内に回答がなかった方や回答ができない方には、後日、紙の調査票を郵送配布します。
調査主体　：　国土交通省、茨城県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、横浜市、川崎市、千葉市、さいたま市、相模原市

東京都市圏交通計画協議会（https://www.tokyo-pt.jp/）
国土交通省関東地方整備局、茨城県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、
横浜市、川崎市、千葉市、さいたま市、相模原市、
独立行政法人都市再生機構、東日本高速道路株式会社、
中日本高速道路株式会社、首都高速道路株式会社

発表記者クラブ
竹芝記者クラブ、茨城県政記者クラブ、埼玉県政記者クラブ、千葉県政記者会、 都庁記者クラブ、神奈川県政記者クラブ、神奈川建設記者会、横浜市政記者会、 横浜ラジオ・テレビ記者会、川崎記者クラブ、 相模原記者クラブ、千葉市政記者会、さいたま市政記者クラブ
問い合わせ先
［東京都市圏交通計画協議会　事務局］ 国土交通省　関東地方整備局　企画部　広域計画課　　TEL048-601-3151 課長　永江（ながえ）　浩一郎（こういちろう）　　課長補佐　松澤（まつざわ）　義明（よしあき）

パーソントリップ調査とは？

パーソントリップ調査は人（パーソン）の１日のすべての移動（トリップ）を把握する調査です。調査では、「どのような人が」、「どのような時間帯に」、「どのような目的で」、「どのような交通手段で」、「どこからどこへ」移動したかなどを調査します。



調査結果は、さまざまなまちづくりの場面で活用していきます

平成 20 年度に実施したパーソントリップ調査の結果は、約７万５千件ダウンロードされ、交通計画や大規模開発による交通影響、駅前広場の計画など将来のまちづくりや交通計画などを検討するための基礎資料となる他、大地震発生時の帰宅困難者支援のための対策立案などにも活用されています。

今回の調査結果は、準備が整い次第、東京都市圏交通計画協議会のホームページで公開する予定です。

＜調査結果の活用例＞

将来のまちづくりの検討

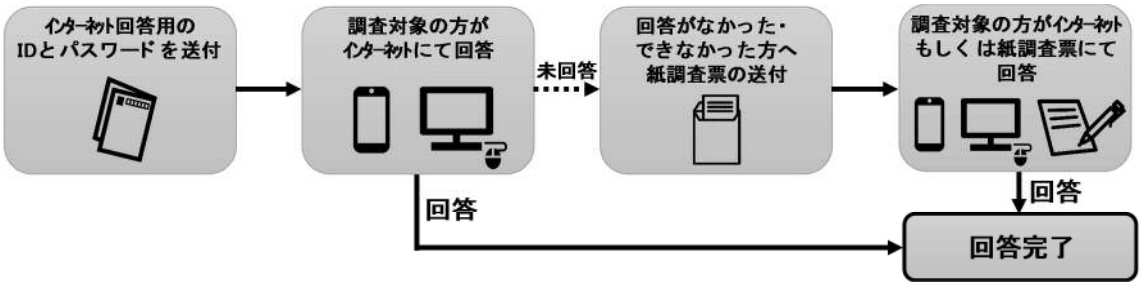
拠点へのアクセス交通の強化や、
必要な施設等の検討に活用できます

発災時の対策の検討

発災時に自宅に帰れない人が多い
エリアでの対策の検討に活用できます。

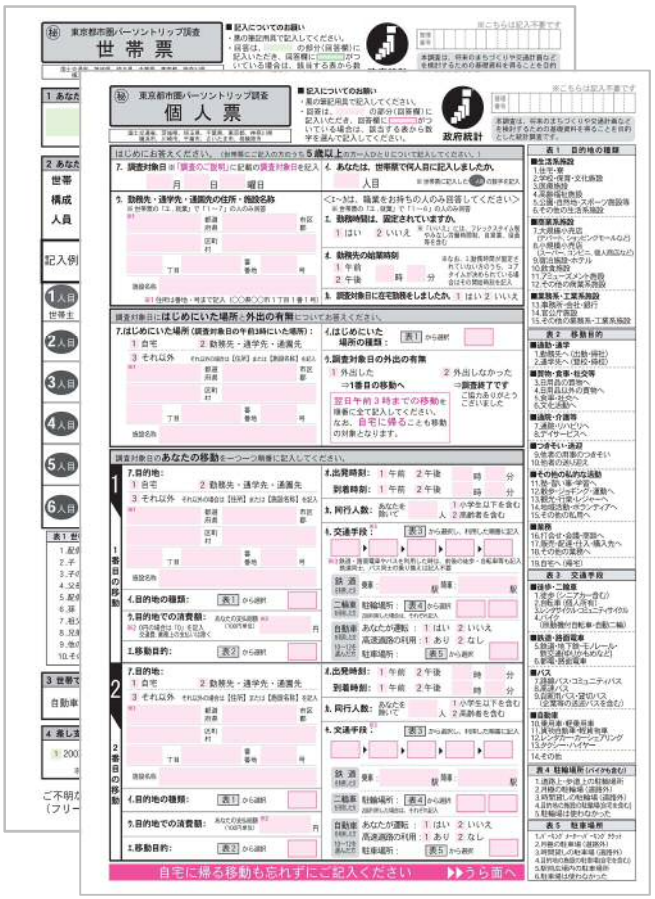
インターネット回答先行型調査により実施します

調査対象の世帯には、郵送により ID とパスワードを配布し、パソコンやスマートフォン、タブレット等を用いてインターネットにより回答して頂きます。回答期限までに回答が無かった方やインターネットによる回答ができない方には、後日、紙の調査票を郵送で配布し、郵送で回収させて頂きます。



インターネット回答用の ID と
パスワードをお知らせするはがき

後日、郵送する紙の調査票



※実際の送付物とは一部異なる場合があります

第 6 回東京都市圏パーソントリップ調査の概要

① パーソントリップ調査の目的

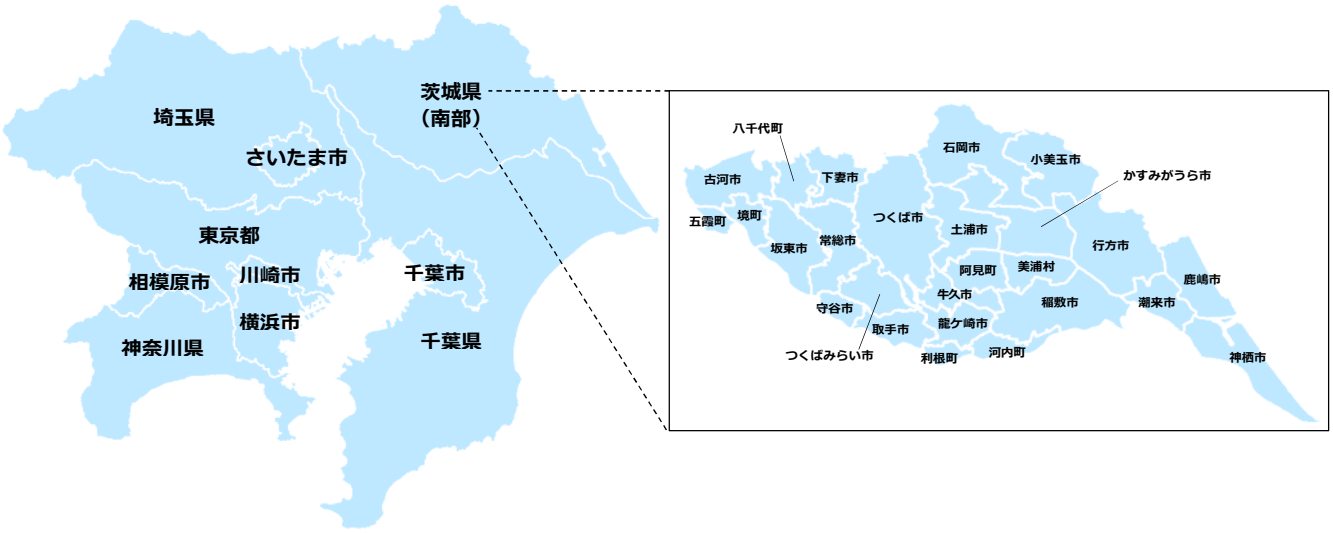
パーソントリップ調査は、将来のまちづくりや交通計画などを検討するための基礎資料を得ることを目的としています。

② 調査期間

調査期間は、平成 30 年 9 月～12 月までの約 4 か月間です。（調査の対象となる日は、調査期間のうち指定された平日 1 日です。）

③ 調査対象地域

調査の対象地域は「東京都市圏」です。東京都市圏は、東京都（島しょ部を除く）、神奈川県、埼玉県、千葉県の全域及び茨城県南部地域であり、この地域は「都市圏内居住者の定常的な 1 日の行動（通勤や通学など）が概ね完結する範囲」、「共通の交通問題・課題として取り扱うべき都市圏交通圏域として一体的なつながりを持つ範囲」として設定しています。



④ 調査対象者

調査対象地域に居住する、５歳以上の方から、世帯を単位として住民基本台帳から無作為に抽出した約 100 万人を対象とします（居住者の約 3%）。

＜東京都市圏交通計画協議会＞

東京都市圏交通計画協議会は、東京都市圏内の都県・政令市及び関係機関が相互に協力・調整し、東京都市圏における総合的な都市交通計画の推進に資することを目的として 1968 年（昭和 43 年）に発足し（当時は東京都市群交通計画委員会）、継続して 50 年にわたって活動しています。

主な活動としては、人の動きを調査するパーソントリップ調査の実施、物の動き及びそれに関連する貨物自動車の動きを調査する物資流動調査を実施しており、基礎的な調査結果をまとめるとともに、広域的かつ総合的な観点からの都市交通政策の検討を行っています。